

プロジェクトリーダー：金城学院大学 看護学部 松田武美講師

事業実績調書

(1) プロジェクト名	健康促進！笑顔満開！プロジェクト
(2) プロジェクトの成果（※そのような成果が得られたかについて具体的に記載）	
<p>目的：プロジェクトの目標は、瀬戸地域に住む高齢者が、自身の健康状態に関心を持ち、今後の健康活動へとつなげていくことができ、学生との世代間交流を通して、健康の維持向上ができる。</p> <p>結果：今年度は、瀬戸市の『サロン・まごころ』（ひだまり、ふれ愛）、ケアハウスにて実施した。参加高齢者の数は、サロンで合計 11 名、ケアハウスで 24 名の参加となった。今年度参加のケアハウスの方から、学生が行う測定について興味を持てたので参加者がたくさん集まった。高齢者から「楽しみにしていた」「若い人との接点がないので新鮮でした」などの言葉をいただいた。目的であった健康に対する目標も「転ばないように気をつける」「毎日栄養のあるものを食べる」「歩く。散歩がしたい」、など聞くことができた。学生からは、「住み慣れた場所で顔なじみのご近所の方と接することはシニアの方の心の健康につながっていることに気づいた」など気づきが見られた。</p> <p>考察：瀬戸地域の高齢者と看護学生との交流では、一緒に行くことで楽しく元気に健康について考えることができていた。高齢者自身の目標から、毎日の中で健康活動へとつなげていくことができているのではないかと、学生との世代間交流を通して、高齢者の健康の維持向上のために少しでも支援できたのではないかと考える。さらに看護学生にとっては高齢者と関り想像以上に元気で暮らしていることを知り長生きの秘訣なども聞いていた。看護学生にとっては、実践でのかかわることからの知識の習得の場となった。</p>	
(3) プロジェクト実施内容（※事業の実施方法、時期、場所、回数、市民への周知方法、参加人員等を含め、その内容を具体的に記載）	
<p>対象：瀬戸市『サロン・まごころ』（ひだまり、ふれ愛）、ケアハウス聚楽の高齢者の方々</p> <p>実施方法：実施方法：学生が瀬戸地域の高齢者サロンへ出向いて、高齢者の方と一緒に健康測定（血圧、骨密度、口腔機能等）簡易的フレイルチェックを実施した。測定時は、お互いにコミュニケーションをとり、自身の健康観や普段の生活など、一緒に語り合える場とした。その後、転倒予防と口腔機能向上のミニ講義と体操を実施した。「サロン・まごころ（ひだまり、ふれ愛）」、ケアハウスの 3 か所の施設との連絡を取り、調整した。それぞれのサロン（施設）に学生 4～6 名、教員 2 名が訪問した。施設の規模、参加者の人数に応じて訪問人数は調整したが、ケアハウスでは、予定以上の 24 名高齢者が集まる機会となった。学生たちの経験から皆で力を合わせて測定し進めることができた。</p> <p>プロジェクトの参加人数は、以下のとおりである。</p> <p>第 1 回開催：2024 年 8 月 6 日参加高齢者（4 名）、看護学生 5 名</p> <p>第 2 回開催：2024 年 8 月 8 日参加高齢者（7 名）、看護学生 3 名</p> <p>第 3 回開催：2025 年 2 月 11 日参加高齢者（24 名）、看護学生 5 名</p>	

(4) プロジェクトの今後の課題と展望

今年度は、「サロン・まごころ（ひだまり、ふれ愛）」、「ケアハウス聚楽」に訪問させていただき、高齢者の健康測定と高齢者の健康について行った。学生の授業や実習などがあり、回数は少なくなった。しかし、ケアハウスでのプロジェクトでは予想以上の高齢者の参加があり、合計 35 名の高齢者との交流ができた。高齢者の健康を考えたとき、継続して高齢者の変化を見ていく必要があると考える。今後も関わった高齢者の経過観察ができるように努めていきたい。更には、地域の高齢者の方々に学生と共に行う健康維持のプログラムの効果を広げていきたいと考えている。